第２号様式（第６条関係）

令和８年４月１５日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（単独事業補助）

（宛先）
戸田市長

団体名　JOIN with SIGNAL 実行委員会
代表者職・氏名　実行委員長　栗原　諒
所在地　[redacted]

補助種別	■　単独事業補助 □　団体共同事業補助	
新規・継続	■　新規	□継続　（２年目）
事業名	JOIN with SIGNAL　｜　走ってつながる、未来への一歩	
実施期間	令和８年４月１日　～　令和９年２月２８日	
確定前交付の希望	■　希望する	□　希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	なし
	実施主体	なし
連絡担当者	氏名	[redacted]
	住所	[redacted]
	電話	[redacted]
	Fax	
	E-mail	[redacted]

≪団体の概要≫

団体名	JOIN with SIGNAL 実行委員会
設立年月日	2025年５月１日　設立
会員数	６人
年会費	０円／１年間
団体の目的	本団体「JOIN with SIGNAL 実行委員会」は、障がいの有無や年齢に関わらず、すべての人が地域の中でつながり合い、自分らしく安心して過ごせる共生社会の実現を目的として活動しています。特に「走る」というシンプルかつ身体的な表現手段を通じて、誰もが主役になれる場づくりを行い、発達や行動に特性のある子どもたちをはじめ、さまざまな背景を持つ人たちが自然に交わり合うきっかけを地域に届けることを目指しています。 本実行委員会は、療育・教育・スポーツ・福祉の分野を横断的に結びつけ、一人ひとりの「楽しい」「できた」「つながれた」という実感を大切にした場づくりを推進しています。
主な活動実績	2025年9月13日、戸田駅西口駅前広場にて、年齢や障がいの有無を問わず誰もが参加できる地域交流イベント「JOIN with SIGNAL」を開催しました。 当日は、多くの子どもから大人までが来場し、20mダッシュ計測や陸上系YouTuberによる陸上教室、競技用車いす体験会などの多彩なプログラムを楽しみました。本事業は、参加者の心身の健康促進（SDGs目標3)、質の高い教育機会の提供（目標4)、不平等の是正（目標10)、そして持続可能な地域コミュニティの形成（目標11)に貢献する活動となりました。
昨年度の補助金等の援助状況	令和7年度 戸田市共創のまちづくり補助金（SDGｓ応援事業補助）50,000円

団体ＰＲなど	私たち「JOIN with SIGNAL 実行委員会」は、埼玉県戸田市を拠点に活動する児童発達支援・放課後等デイサービス「JOIN」を母体とし、「障がいの有無に関わらず、誰もが共にいることがあたりまえになる社会」の実現を目指す団体です。 私たちの活動の中心は、戸田駅前の公共空間で開催する地域交流イベント「JOIN with SIGNAL」です。このイベントは、単なる運動イベントではありません。「走る」という誰もが楽しめるシンプルな行為を通じて、年齢や障がいの有無、国籍といったあらゆる垣根を越え、人と人が自然につながるきっかけを創出するインクルーシブな場です。20m ダッシュ計測や競技用車いす体験などのプログラムは、子どもたちに「できた！」という成功体験と自信をもたらし、参加者同士の自然な交流を育みます。 私たちは、福祉の現場から生まれた視点を大切にしながら、支援する側・される側という関係性を越えて、誰もが主役になれる地域づくりに貢献します。この活動を年次開催として根付かせ、企業・行政・地域住民と共に、戸田の街にあたたかな共生の景色を広げていくことを目指しています。

≪**事業企画書**≫

1　事業の目的・必要性

本事業「JOIN with SIGNAL」は、走ることを通じて年齢や障がいの有無、国籍といったあらゆる背景を越え、人と人とが自然につながる「きっかけ」を創出することを目的とします。2025 年 9 月に初開催した際には、多くの子どもから大人までが参加し、障がいのある子もない子も、地域住民も、誰もが自然に混ざり合えるインクルーシブな空間が生まれました。参加者からは「楽しかった」「また参加したい」という声が多数寄せられ、地域における交流の場としての高いニーズが確認されました。

この成功を踏まえ、2026 年度は年 2 回の開催を通じて、本イベントを単発の催しではなく、戸田市に根付く「年次文化」として定着させることを目指します。支援する・されるという関係性を越え、「共にいることがあたりまえになる」社会の実現に向け、継続的かつ発展的な地域交流の核となる場を創造する必要があると考えています。

2　事業を実施するに当たっての現状や課題

【現状】　2025 年 9 月の初開催において、300 名を超える地域住民が来場し、特に「20m ダッシュ計測」や「競技用車いす体験」は、年齢や障がいの有無を問わず多くの参加者が挑戦する人気コンテンツとなりました。この成功により、本事業のコンセプトが地域に受け入れられる素地があること、そして駅前広場という公共空間がインクルーシブな交流拠点として機能する可能性が証明されました。

【課題】　一方で、初開催ならではの課題も浮き彫りになりました。具体的には、①ピークタイムにおける受付・誘導の混雑、②屋外開催に伴う天候リスクへの対応（中止基準の周知方法）、③参加者同士の交流時間を十分に確保できなかったプログラム進行、などが挙げられます。2026 年度はこれらの運営課題を解決するとともに、年 2 回開催へと規模を拡大することに伴う、広報戦略の強化と持続可能な運営体制の構築が新たな課題となります。

3　事業の具体的内容

2026 年度は、春と秋の年 2 回、以下の内容でイベントを実施します。

【第 1 回：2026 年 5 月 9 日（土）@戸田駅西口駅前広場】

【第 2 回：2026 年 11 月（予定）@戸田市役所駐車場（予定）】

1. **20m ダッシュ計測体験（無料・自由参加）**
   誰でも気軽に挑戦できる本イベントのメインコンテンツ。タイム計測を通じて、挑戦する楽しさや達成感を味わう機会を提供します。
2. **かけっこ教室（有料（1,000/人）・事前申込制）**
   専門的な指導者（陸上系 YouTuber 等を想定）を招聘し、子どもたちに走ることの楽しさや体の使い方を学ぶ機会を提供します。発達特性のある子も安心して参加できるよう、個別配慮を行います。

3. **競技用車いす体験会（無料・自由参加）**
   パラスポーツに触れる機会を通じて、多様性への理解を深めます。障がいを「特別なもの」ではなく、スポーツの一つの形として体験することで、インクルーシブな価値観を育みます。
4. **交流ブース・地域の輪（仮）**
   地域の企業や団体、福祉施設などが活動を紹介できるブースを設け、イベント参加者との新たなつながりを創出します。

4　事業の実施体制

本事業は、放課後等デイサービス「JOIN」の職員を母体とする「JOIN with SIGNAL 実行委員会」が主催・運営します。2025 年度の運営体制を基盤とし、以下の点を強化します。

・**実行委員会**：実行委員長、副実行委員長、会計、広報等の役割を明確にし、意思決定の迅速化を図ります。

・**現場運営**：JOIN 職員に加え、地域のボランティアスタッフを積極的に募集・配置します。特に反省点であった受付・誘導については専任チームを設け、スムーズな案内を実現します。

・**専門家との連携**：陸上系 YouTuber やパラスポーツ指導者などの専門家との連携を継続し、質の高いコンテンツを提供します。

・**協力体制**：戸田市、地域企業、学校、福祉関係団体との連携をさらに深め、地域全体でイベントを支える体制を構築します。

5　事業実施のスケジュール

【5月開催】

月　日	内　　容
1月	2026年度事業計画策定、会場予約（戸田駅西口駅前広場）
2月	協賛企業募集開始、広報物（チラシ・ポスター）デザイン着手
3月	協賛企業募集終了、かけっこ教室募集開始
4月	広報物完成・市内各所への配架配布、SNS 告知強化、かけっこ教室申込受付開始、最終運営マニュアル作成
5月	イベント当日（5月9日）、アンケート集計・実績報告書作成、協賛企業への報告

【１１月開催】

6月	第1回の振り返り・課題整理、第2回計画の具体化
7月	会場最終決定（戸田市役所駐車場）、コンテンツ内容調整
8月	協賛企業への追加アプローチ、広報物作成
9月	ボランティア募集開始、SNS・チラシによる広報開始
10月	かけっこ教室申込受付開始、運営体制最終調整
11月	イベント当日（日程調整中）

6　事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

【定量的目標】（年間合計）

・**イベント総来場者数**：800名以上（第1回：350名、第2回：450名を想定）

・**かけっこ教室参加者数**：延べ80名以上（各回2クラス×20名）

・**SNS・広報リーチ数**：合計10,000人以上への情報到達

・**ボランティア参加者数**：延べ10名以上

・本イベントが「戸田市の恒例イベント」として地域住民に認知され、自発的な参加や協力の輪が広がる。

7　補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

本事業を持続可能な地域文化として定着させるため、補助期間中から以下の多角的な財源確保に取り組み、補助終了後には自立した運営体制を確立します。

・パートナーシップ（協賛）の拡大

地域の企業や商店に対し、単なる広告掲載に留まらない「地域貢献・SDGs活動」としての協賛メリットを提示し、パートナーシップ契約を拡大します。年間を通じた複数年契約なども視野に入れ、安定的な基盤を築きます。

・有料コンテンツの収益化

「かけっこ教室」など、専門性の高い有料コンテンツの満足度を高め、収益の柱の一つとして確立します。将来的には、大人向けのプログラム開発なども検討します。

・行政・他団体との連携によるコスト分担

戸田市や社会福祉協議会、他の市民活動団体との連携を深め、会場費の減免や備品の共同利用、広報協力などを通じて、運営コストの削減を図ります。

≪**収支予算書**≫

【収入】

科　目		予 算 額	内　訳
補助金・助成金	当補助金	200,000	
	その他		
自己資金		99,192	
会費		0	
利用者負担金		60,000	かけっこ教室参加料 1,000 円×60 人
協賛金・寄附		100,000	20,000 円*5 社
出店料		30,000	3,000 円*10 店舗
合　計		489,192	

【支出】

	科　目	予 算 額	内　訳
補助対象経費	謝礼金	100,000	かけっこ講師 30,000 円*2 カメラマン 20,000 円*2
	交通費	10,580	打ち合わせ （桜上水→戸田片道 1058 円×10 回）
	消耗品費	125,000	紙（A4・A3）、ラミネート（A4）、ゴミ袋（45L）、養生テープ、ハサミ、カッター、のり、ボールペン、イベント備品収納ケース、ガムテープ、結束バンド、救急セット ダッシュ用芝生（25m×4 本）、ビブス、ポーチ
	食糧費	15,000	弁当*10 飲料水*20 講師・ボランティアスタッフ用
	印刷製本費	77,622	A1 ポスター（1 部）　1,903 円 協賛冊子（巻三つ折りパンフレット 800 部）20,770 円 クリアファイル（200 枚）17,680 円 アイロンシート（プリントシール 12 部）5,980 円 テーブルクロス（1 枚）11,261 円 横断幕（２枚）17,214 円 のぼり（６枚）2,814 円
	保険料	48,410	イベント保険（２回分）
	使用料	62,580	駅前広場　5,500 円 市役所駐車場（南側全面使用）

			57,080 円	
	賃借料	20,000	タープ、スポンサーボード	
小　計		459,192	内訳	補助金申請額：200,000
				自主財源：259,192
対象外	食糧費	10,000	団体スタッフ	
	その他	20,000	台車、広告費（戸田公園ガイド掲載、ヤフーニュース掲載）	
小　計		30,000		
合　計		489,192		